

山口情報芸術センター [YCAM] ライブコンサート

sound tectonics #11

## 「鈴木昭男; Studies in Sonority and Space」

2012年5月27日(日) 14:00開演(30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

独自のサウンドアートを追求する鈴木昭男のパフォーマンス×電子音響リミックス  
音による環境の共創造

山口情報芸術センター [YCAM] では、京丹後を拠点に国際的に活躍する音楽家・鈴木昭男と、鈴木に多大な影響を受けた若い世代のアーティストたちによるライブコンサート「sound tectonics #11 鈴木昭男; Studies in Sonority and Space」を開催いたします。

鈴木は、土地ごとの特徴を鋭く観察することで、独特の音と個別の聞こえ方を取り出し、それを活かした演奏をおこなう音楽家で、長年に渡ってサウンドアートの地平を切り拓いてきた世界的な先駆者の1人です。今回のライブコンサートでは、鈴木のパフォーマンスを中心に、近年鈴木とのコラボレーションを精力的に展開しているダンスの宮北裕美との即興パフォーマンス、さらには鈴木サウンドスケープを電子音響リミックスとしてマルチチャンネルで緻密に再構築するevalaと原摩利彦によるパフォーマンスを発表します。

YCAMが誇るハイクオリティの音響環境を活かしたライブコンサートを通じて、アーティストたちの研ぎ澄まされた音への感覚や、アプローチをご紹介します。



参考写真：鈴木昭男+宮北裕美「空っぽ『ぼんぼごりん♪』vol. 2」(2011)  
場所:social kitchen 撮影:小山敦寛

この機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 担当：渡部

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 e-mail:information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 出演者プロフィール

## 鈴木昭男 (すずき・あきお)

1941年生まれ。60年代より音の自修イベントを始める。70年代にANALAPOUSなどの楽器を創作。80年代、コンセプチュアルな音のパフォーマンスや、〈一日自然に耳を澄ます〉音のプロジェクト「日向ぼっこの空間」を遂行(1988)。90年代より音のインスタレーションを手掛け、ベルリンにおける「ソナンビエンテ・フェスティバル」(1996)以来、「点音(oto-date)」を展開している。「ドクメンタ・8」(カッセル/1987)、ザールブリュッケン市立ギャラリー(1997)、ドナウエッシングン現代音楽祭(1997)、大英博物館・旧図書館(2003)、「ノイズレス・鈴木昭男+ロルフ・ユリウス展」(京都国立近代美術館/2007)など世界各地で展示を行う。現在はダンサーの宮北裕美とパフォーマンス活動を続ける。

<http://www.akiosuzuki.com>

## 原 摩利彦 (はら・まりひこ)

1983年生まれ。静寂の中の強さをテーマに音作品に取りかかる。アルバム「Credo」をレーベルHome Normalからリリース。2011年秋には、柳本奈都子(ボーカル)とのユニット「rimacona」がLe Lieu Unique(ナント)に招待される。伊勢谷友介監督作品「セイジ-陸の魚-」(音楽監督:渋谷慶一郎/2012)のサウンドトラック、高谷史郎新作公開リハーサル(音楽:サイモン・フィッシャー・ターナー/2012)などに参加。

<http://www.marihikohara.com>

## evala (エバラ)

port主宰、ATAK所属。先鋭的な電子音楽作品を発表し、国内外でのパフォーマンスや、美術館でのインスタレーションをおこなう。また立体音響システムや先端テクノロジーを用いた実空間へのサウンド・デザインや舞台音楽、広告メディアへの楽曲/音楽プロデュースなど、音を軸に多岐な活動を展開。

最新アルバム「acoustic bend」(port/2010)は、フィールドレコーディングを位相変換した立体的で高密度なサウンドにより革新的なアルバムとして評される。日本科学未来館では、多面体スピーカー10.2chを導入し企画展の全域にわたりサウンドデザインを手掛けている。

<http://port-label.jp>

<http://evala.jp>

## 宮北裕美 (みやきた・ひろみ)

兵庫県伊丹市出身。イリノイ大学芸術学部ダンス科卒業。山下残ダンス作品への出演、アルカディ・ザイデスのプロジェクト参加などを経て、2010年に宮北裕美/ガラバゴス楽団を始動し『i.i.の死』を発表。身体と空間、ものや音との関係性についての実験的な試みも多く、文化庁メディア芸術祭や京都市美術館でのパフォーマンス、初個展「S・P・A・N・K」など様々な角度から身体表現の可能性を探っている。

<http://miyakita.exblog.jp>

## 開催概要

## sound tectonics #11

## 「鈴木昭男; Studies in Sonority and Space」

出演: 鈴木昭男、evala、原 摩利彦、宮北裕美

2012年5月27日(日) 14:00開演(30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

料金: [オールスタンディング]

前売 一般2,000円/any 会員・特別割引1,500円/25歳以下1,300円

当日 2,500円 ※当日は各種割引対象

## チケットのお求め

電話/窓口: 山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111 (YCAM内/10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット: <http://www.ycfcp.or.jp> (24時間受付※要事前登録)

セブンイレブン店頭: セブンコード 016-554

## ■特別割引

シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

## ■未就学児入場不可

## ■託児サービス

対象: 0才(6ヶ月)以上

託児時間: 開演の30分前から終演30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法: 5月20日(日)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

## ■車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください。

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

技術協力: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

平成24年文化庁度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業